

第3回金属・複合材料の半凝固加工に関する国際会議

国際運営委員会 委員長 木内 学

東京大学 生産技術研究所 教授

(平成5年度国際会議等開催準備助成 AF-93046)

1. 開催日 : 1994年6月13日~15日
2. 開催場所 : 東京 (機械振興会館)
3. 会議報告 :
- 3-1 目的
- 3-2 運営組織
- 本会議は、近年急速に関心が高まってきた金属材料の半凝固処理技術ならびに半熔融加工技術について、国際的な情報・知識の交換と学術協力の促進を図ることを目的として組織され、第1回 (1990年、フランス)、第2回 (1992年、アメリカ) に引続いて開催されたものである。
- 本会議は、下記17名から成る国際運営委員会ならびに同国際運営委員会の下に下記6名から成る国内運営委員会が組織され運営された。
- 本会議は、近年急速に関心が高まってきた金属材料の半凝固処理技術ならびに半熔融加工技術について、国際的な

[国際運営委員会名簿]

S. Bercovici	Pechiney,	France
K. Blazek	Inland Steel,	U. S. A.
S. Brown	M.I.T.,	U. S. A.
J. Collot	C. E. M. E. F.,	France
F. J. Feikus	V. A. W.,	Germany
M. C. Flemings	M. I. T.	U. S. A.
K. Ichikawa	Mech. Engg. Lab. M. I. T. I.,	Japan
D. H. Kirkwood	Sheffield Univ.,	U. K.
M. Kiuchi	Univ. of Tokyo,	Japan
W. H. Kool	Delft Univ.,	N. L.
C. Levallant	C. E. M. E. F.,	France
J. Masounave	E. T. S.,	Canada
Y. Saito	Osaka Univ.,	Japan
M. Suery	I. N. P. G.,	France
O. Vorren	Hydro - Aluminum,	Norway
P. Wilcox	I. T. T. Cannon,	U. S. A.
K. P. Young	Buhler A. G.,	Switzerland

[国内運営委員会名簿]

M. Kiuchi	Univ. of Tokyo	Japan
Y. Saito	Osaka Univ.,	Japan
T. Emi	Tohoku Univ.,	Japan
K. Ichikawa	Mech. Engg. Lab. M.I.T.I.,	Japan
T. Suzuki	Univ. of Tokyo	Japan
A. Nanba	Rheo - Technology Ltd.,	Japan

3-3 会議の構成

本会議は、テーマごとに12のセッションに分け、各セッションはキーノート講演と一般講演から構成した。キーノート講演は10件、一般講演は34件であった。キーノート講演と一般講演をあわせた国別の講演数を以下に示す。

〔 国 別 講 演 数 〕

Japan	12件	China	1件
U. S. A.	5件	Egypt	1件
England	5件	Austria	1件
Korea	4件	Taiwan	1件
France	3件	Belgium	1件
Germany	3件	Switzerland	1件
Norway	2件		
Canada	2件		
Italy	2件		

3-4 参加状況

本会議への参加登録者数は172人であり、その内訳は国内129人、国外43人（参加国数14ヶ国）であった。

3-5 助成金の使用状況

助成金は本会議開催の案内状（2回）の印刷費ならびその郵送料の一部に使用した。

4. 謝 辞：

本会議は当初見込んだ以上の参加者を得、成功裏に終わった。貴天田金属加工機械技術振興財団からの助成金は、本会議開催の各種案内冊子類の印刷ならびに国内外への送料の一部として使用させて頂き、準備の円滑な遂行に大いに役立った。ここに貴財団の理解ある助成に対し深く感謝する。

5. 成果の公表：

本国際会議の講演原稿をプロシーディングスに編集し、総ページ数492、A4サイズのハードカバー付き上装丁本とし発行した。上記プロシーディングスの概要を別紙添付資料に示す。